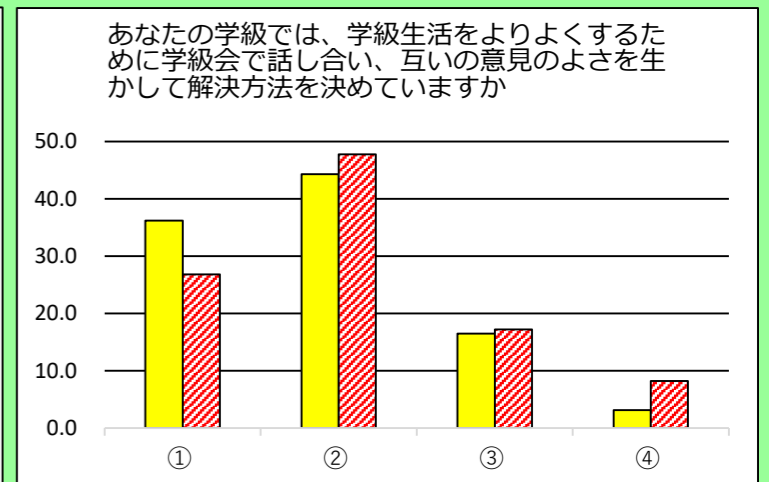
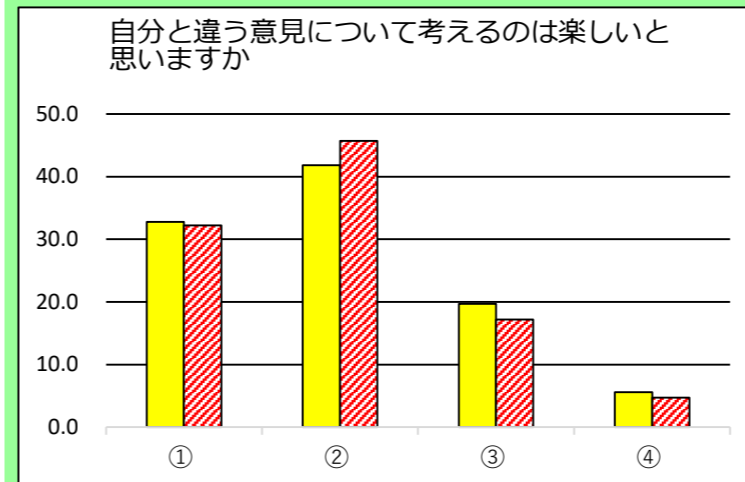
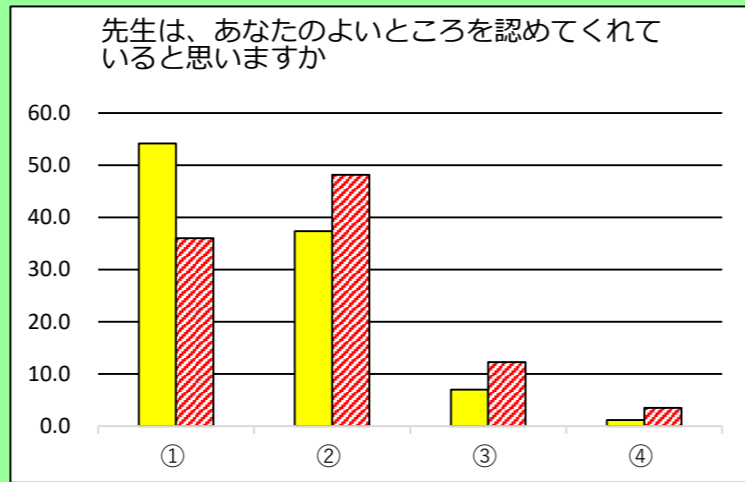
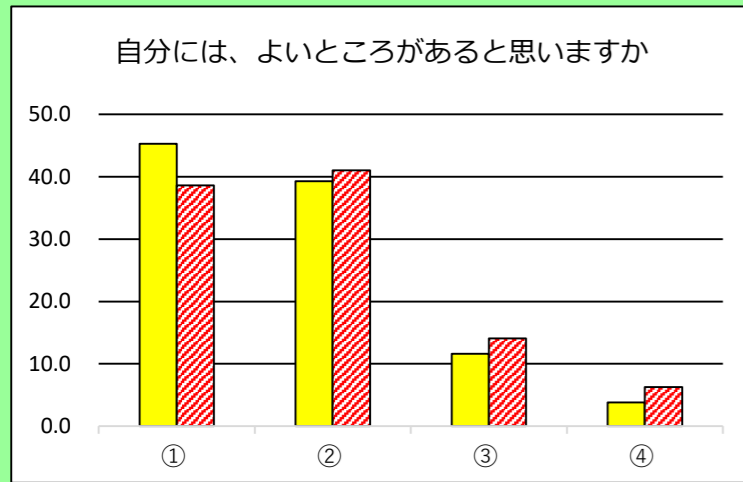


# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅢ 質問紙調査（学校生活全般及び生活習慣に関すること）

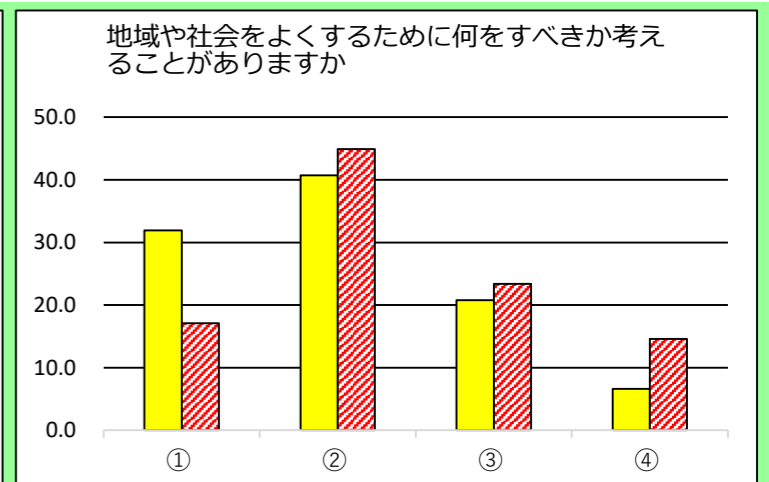
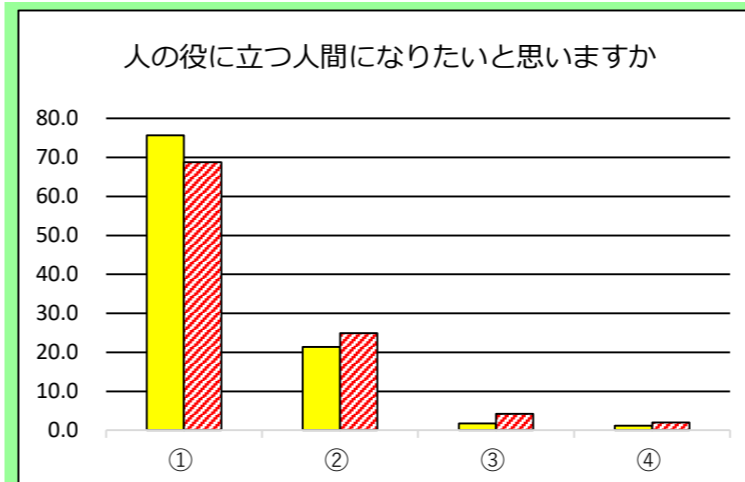
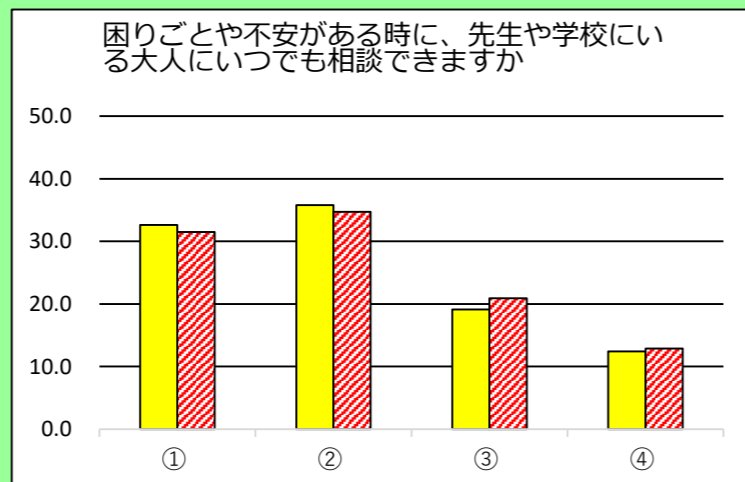
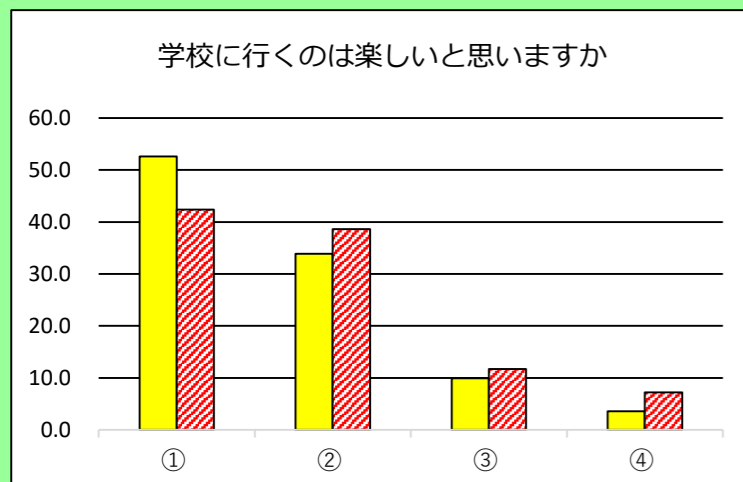


## ■現状・課題

小・中学校ともに自己肯定感が高い傾向にあり、教師から自分のよいところを認められていると回答している児童・生徒が多い。一方で、否定的な回答をしている児童・生徒が一定数いることから、結果だけでなく、過程を重視する指導を行い、「あきらめずに粘り強く生き抜く力」の育成を図ることが必要である。

## ■現状・課題

小・中学校ともに自分と違う意見について考えたり、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたりすることに肯定的な回答をしている児童・生徒が多い。一方で、否定的な回答をしている児童・生徒が一定数いることから、他者と話し合い、妥当な意見を生み出したり、折り合いをつけたりする経験を積ませることが必要である。

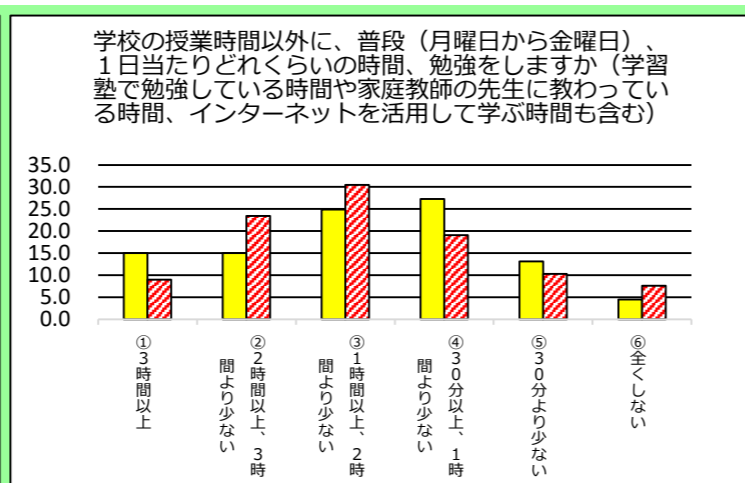
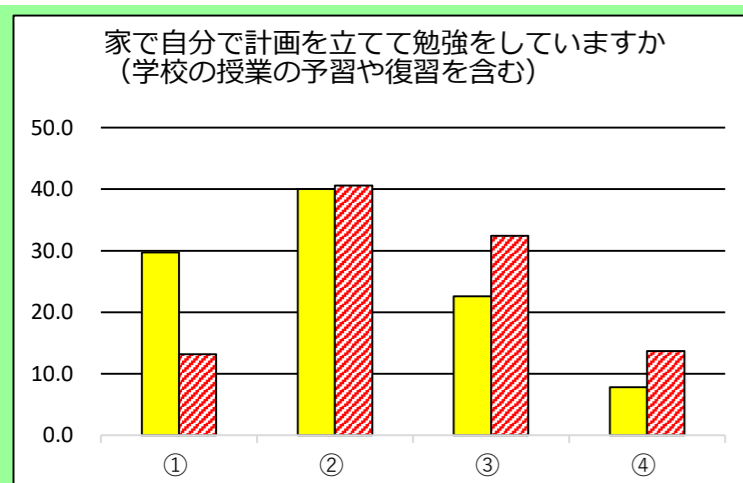


## ■現状・課題

小・中学校とも学校に行くことを楽しいと思っている児童・生徒が多い。一方で、困りごとや不安がある時に、教師や学校にいる大人にいつでも相談できると回答している児童・生徒の割合が6割程度であることから、学校全体として教師と子どものよりよい関係づくりや児童・生徒に対する相談機能を高めていくことが必要である。

## ■現状・課題

小・中学校ともに人の役に立つ人間になりたいと思っている児童・生徒が多い。一方で、地域や社会のために何をすべきか考えている児童・生徒は少ないことから、貢献したい気持ちを大切にしながら、地域と連携した授業を積極的に取り入れ、学習をとおして地域や社会のためにすべきことを考える経験をさせることが必要である。



## ■現状・課題

家で自分で計画を立てて勉強している、学校の授業時間以外に3時間以上勉強していると回答した児童の割合は、生徒の割合よりも高い。また、小・中学校ともに、家で自分で計画を立てて勉強していない、学校の授業時間以外の勉強時間が1時間より少ないと回答している児童・生徒が一定数いる。家庭学習は小・中学校ともに本市の課題であり、今後も各学校の推進状況や取組を共有し合い、小・中学校で連携して改善していくことが必要である。

## ■グラフの見方

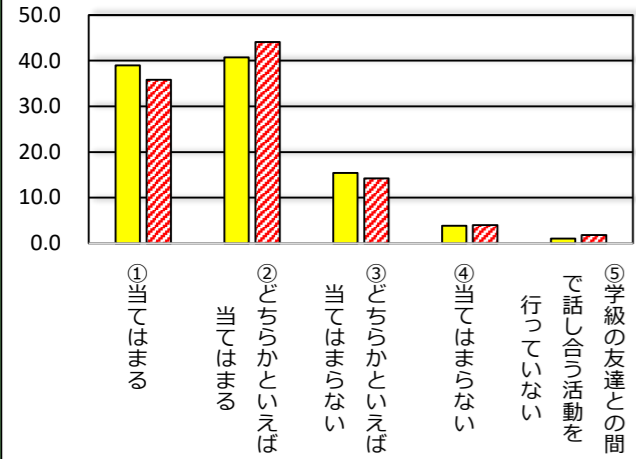
左（青）の棒グラフ…小学校6年児童  
右（赤）の棒グラフ…中学校2年生

表中の①～④は、児童・生徒質問紙において、①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」、③「どちらかといえば、当てはまらない」、④「当てはまらない」と回答したそれぞれの児童・生徒の割合を示している。

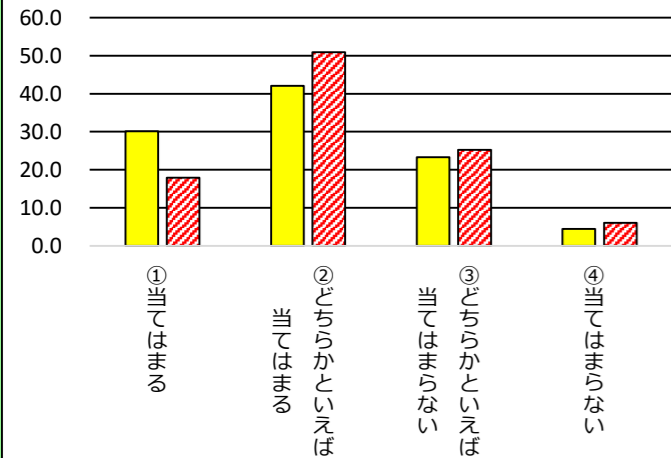
# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅢ 質問紙調査（学習に関すること）

## ■ 学び方に関すること

学級の児童・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

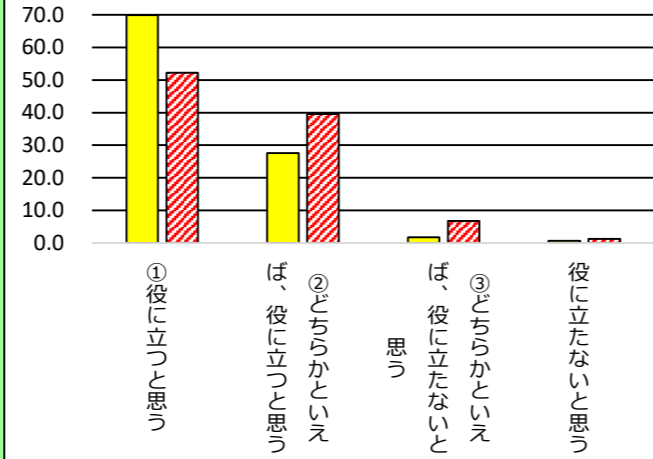


学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

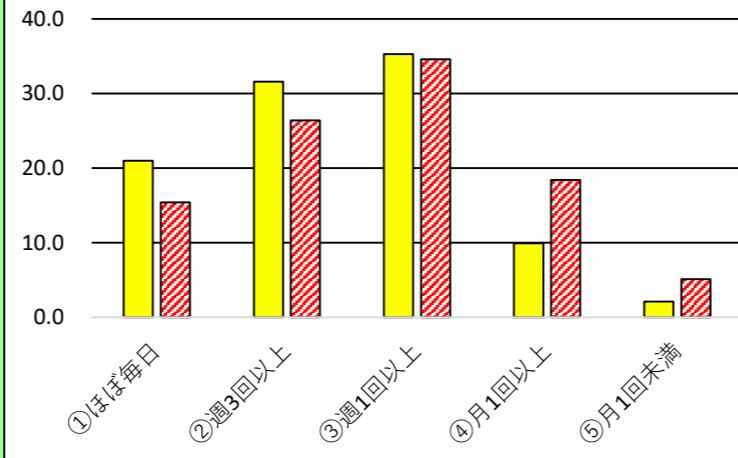


## ■ ICTに関すること

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



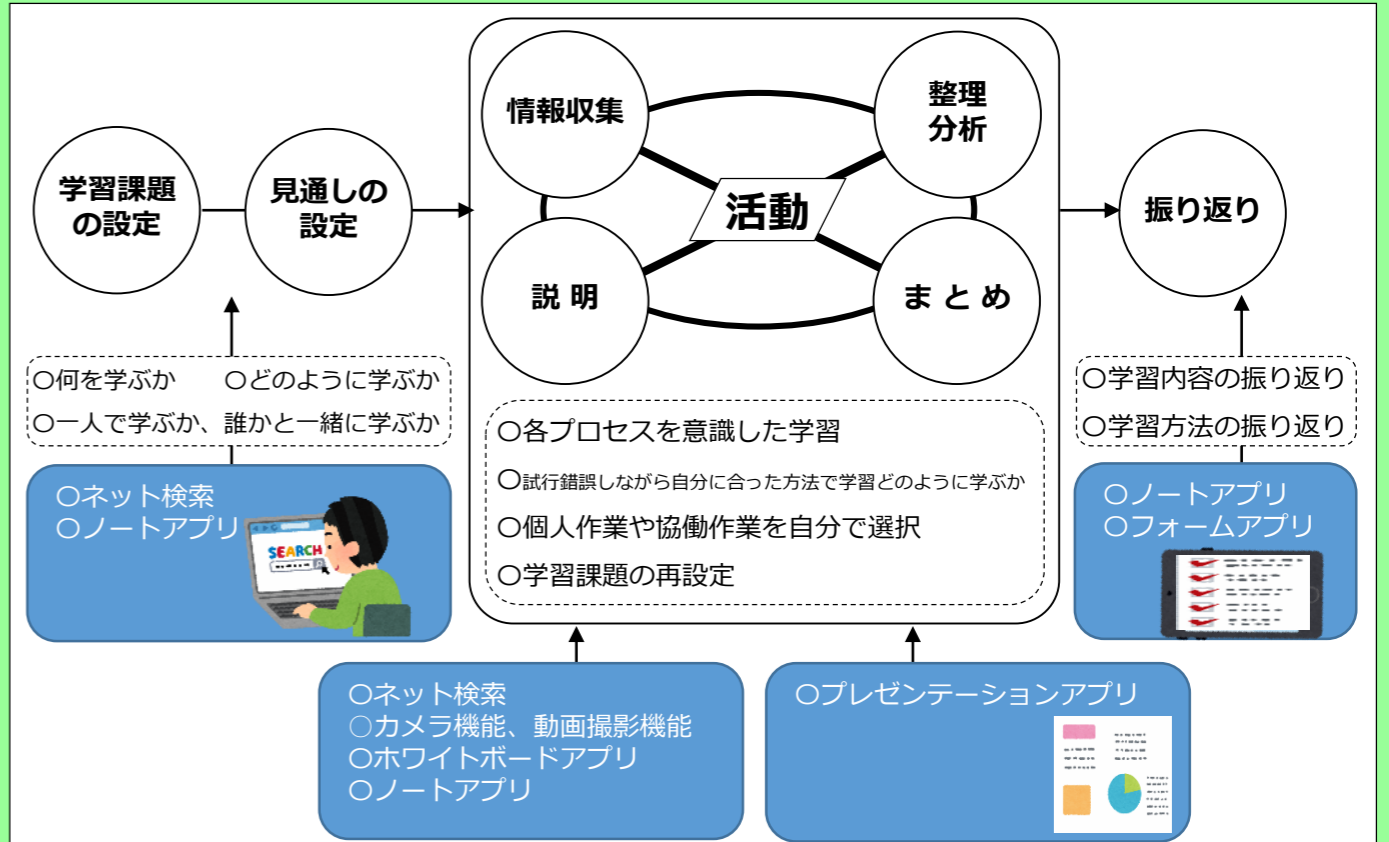
（小学校5年生まで/中学校1・2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



## ■ 現状・課題

小・中学校ともに学習の中でICT機器を使うことは勉強に役立つと回答している児童・生徒が多い。一方で、学校におけるタブレット端末の使用は、小・中学校ともに、週1～3回以上が6割程度、月1回以上が1割程度である。また、学校の授業時間以外でICT機器を勉強のために30分以上使っている児童・生徒は3割程度である。これらのことから、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICTを活用しながら、授業改善を図るとともに、各学校においてタブレット端末の持ち帰りを励行することが必要である。

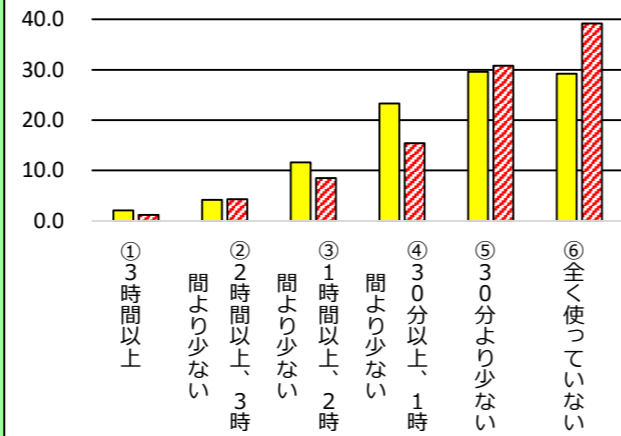
## ■ ICTを活用した授業改善の例



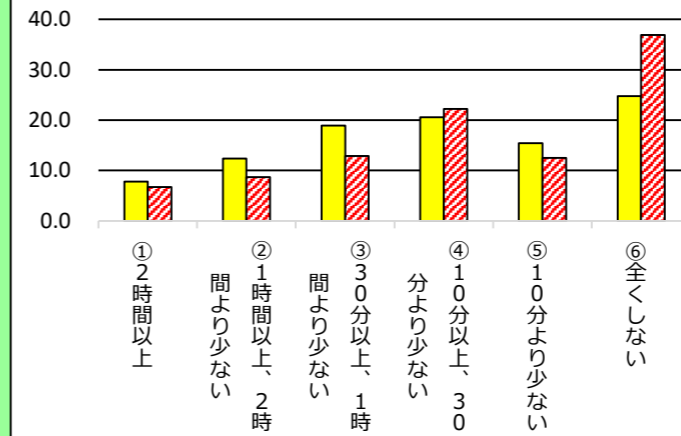
## ■ 現状・課題

小・中学校ともに話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできていると回答している児童・生徒が多い。一方で、小・中学校ともに学習内容を見直し、次の学習につなげていると回答をしている児童・生徒の割合が下がる傾向にあることから、毎時間の授業の導入において見直しをもつとともに、終末において学習内容を振り返る学習活動を充実させる必要がある。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



## ■ 現状・課題

学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上読書していると回答した児童の割合は、生徒の割合よりも高く、全く読書しないと回答している生徒の割合は児童の割合よりも高い。「図書館を使った調べる学習コンクール」の取組など、今後も図書館との連携を進め、読書活動の推進を図る必要がある。